

動薬協会発 157号
平成24年6月13日

社団法人 日本動物用医薬品協会
会 員 各 位

社団法人 日本動物用医薬品協会
理事長 福井邦顯
(公印省略)

第47回(平成24年度)優秀畜産技術者表彰候補者の推薦依頼について

当協会の業務運営につきましては、日頃からご支援、ご協力を頂きお礼申し上げます。
さて、標記のことについて、社団法人畜産技術協会より別紙のとおり通知がありました
のでお知らせします。

表彰を希望される方は、所定の様式に記入の上、E-mailにより平成24年11月15
日までに、当協会へ申込みをお願いします。



24 畜技協第220号

平成24年6月7日

社団法人日本動物用医薬品協会 御中

社団法人 畜産技術協会

会長 菅野 茂



第47回（平成24年度）優秀畜産技術者表彰候補者の推薦依頼について

時下ますますご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

平素は、当協会の運営について格段のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当協会は、財団法人 日本中央競馬会弘済会のご支援を得て、畜産技術者の技術向上を促し、畜産技術の普及・発達に資することを目的として、中堅技術者を表彰する「優秀畜産技術者表彰事業」を実施してまいりました。

これまでは、応募者、受賞者とも、その大部分が都道府県を中心とする官公署の関係者となっておりました。しかし、この表彰事業の趣旨から広く民間団体等の技術者についても顕彰し、畜産技術の発展向上を図ることが望ましいとの観点から、当協会の4号会員各位にも推薦母体として加わっていただき、会員団体あるいは会員各位の構成員である企業等に勤務されている技術者・研究者についての推薦方をお願いしております。

つきましては、平成24年度も別紙のとおり候補者の推薦をお願いしたいと存じますので、ご多用のところ誠に恐縮ですが、よろしくお取り計らいくださいますよう、お願い申し上げます。



第47回（平成24年度）優秀畜産技術者表彰候補者の 推薦および推薦状の記入についてのお願い

〔平成24年6月 社団法人畜産技術協会（事務担当 企画情報部）〕

平成24年度の候補者ご推薦、推薦状ご記入について下記の点にご留意の上、よろしくお願ひいたします。

記

I 候補者の推薦について

1. 受賞対象者は、畜産技術協会1号会員の構成員（民間、国の機関の方も含む）であって将来性に富み意欲ある優秀な中堅の技術者・指導者を対象とし（細則第1）、畜産技術の研究、開発または優秀技術の普及、指導上顕著な功績を挙げた者とされています（表彰規程第2条）。

このため、候補者としてご推薦をいただく方については、

- ①概ね50歳以下の者とし、
- ②受賞者は10件以内（細則第4）であることから、原則として1機関（〇〇県畜産試験場等）1名以内でお願いします。

また、すでに全国的表彰を受けた者は、原則として対象外となります（細則第1）。

2. 表彰の対象分野は、畜産技術に係る（1）家畜生産・飼養、（2）草地・飼料、（3）家畜衛生、（4）経営技術・指導、（5）行政・普及等の幅広い分野としますが、この5分野以外を対象とした候補者でも差支えありません。
3. この事業の趣旨としては、より広い範囲の優れた技術者の方を表彰することとされておりますので、団体・民間や独立行政法人等の研究者・技術者、また畜産の生産現場で活躍されている行政部局技術者の方の積極的なご推薦もお願いいたします。
4. 特に、経営技術・指導や行政・普及の分野にご推薦をいただく場合は、その技術者の業績が生産現場でどのような効果を挙げているかについて具体的にお示し下さい。
5. なお、前回までの審査において選外となられた方でも、更に業績を積み重ねられて受賞される例もみられますので、再度のご推薦についてもご検討をお願いいたします。
6. 受賞者は、畜産技術協会より推薦を依頼した団体（全国畜産関係場所長会、全国畜産課長会、家畜改良センター牧場長協議会、社団法人中央畜産会）及び畜産技術協会の4号会員から推薦された候補者について、各分野の権威者で構成される審査委員会に諮り畜産技術協会会長が選考決定いたします（表彰規程第6条、細則第6）。

II 推薦状の記入について

受賞者の審査は、提出いただいた推薦状を基にして行われます。候補者が適切、公正に評価を受けられますよう、ご記入に際し特に次の点にご留意下さい。

なお、推薦状の様式は社団法人畜産技術協会のホームページ (<http://jlta.lin.gr.jp/>) からダウンロードできます。

1. 推薦状は、指定の様式によりA4版用紙2枚にまとめてください。各欄のスペース、活字の大きさは特に指定しませんが、推薦状はそのままコピーして審査資料とします。A4版用紙2枚以上にわたる長文の推薦状は2枚にして再提出をお願いすることになりますのでご注意願ひます。また、原稿は両面打ち出しないで、必ず片面印刷2枚でお願いします。

2. 推薦状の「推薦者」は、候補者が所属する機関・団体の代表者等とします。
 推薦状は、畜産技術協会が推薦を依頼した I-6. の団体を経由して提出されることを原則としますが、推薦団体の了解を得た上で直接送付（郵送に限る）されても結構です。
3. 「候補者の職歴と従事した業務の内容」欄については、候補者が関係した時期、機関と地位、従事した仕事の内容が明確になるよう時系列的に 2～3 行で簡潔に記入してください。
 （記入例）
- (1) 平成 2 年 4 月～平成 4 年 3 月
 ○○県畜産試験場○○研究部 研究員。 ○○に関する研究開発
- (2) 平成 4 年 4 月～平成 6 年 3 月
 ○○県畜産技術課○○係長。○○に関する技術行政事務
- (3) 平成 2 年 4 月～平成 5 年 3 月
 ○○県○○家畜保健衛生所 技師。○○○業務
- (4) (民間勤務、自営がある場合)
 平成 6 年 4 月～平成 8 年 3 月
 ○○株式会社 開発部 研究員(社員)。○○の開発 (営業)
 ○○県○○郡で養鶏業(5 万羽)を自営
- (5) (JICA 等海外勤務がある場合)
 平成 8 年 4 月～平成 10 年 3 月
 JICA 海外青年協力隊員として○○国の○○において○○を指導
4. 「表彰に値する業績の概要」は、候補者の業績について「研究業績」と「技術普及に係る業績」に分けて記入して下さい。時系列ではなく、主要なものの順にタイトルを付けて、業績の背景、事実、何に優れ(貢献し)どの様な効果があったか等について、簡潔かつ明確に記入して下さい。
 (業績では具体的な成果名や開発した商品名等があれば記述し、普及面では改善された点等を可能な限り数値等で示して下さい。)
- 大きい事業や共同研究に係る業績については、そのプロジェクトにおける候補者の位置づけ、果たした役割が明らかになるようにして下さい。また、本人の発見によるものか、既往の成果を応用したり、改良したりしたものかが分かるように記述して下さい。
- この「業績概要のまとめ方」が審査に影響しますので、専門分野以外の審査員にも候補者の功績がわかるような記述をして下さい。
- なお、前年度までの受賞者の記入例を求められましても、事務局としては応じられませんのでご了承下さい。
5. 「過去の受賞歴」は、候補者の受賞歴について記入して下さい(グループ受賞も含む)。
6. 「その他の参考事項」としては、研究報告、特許、実用新案、事業報告などをご記入下さい。本人の業績と分かるように著者名等も記述して下さい。公刊された図書・雑誌、資料の別刷り等の添付は不要です。必要な場合には、こちらから別途要請いたします。

III 推薦状の提出期限

推薦状の提出期限は、平成 24 年 12 月 15 日(土)としております。
 推薦団体を経由して提出される場合は、推薦団体における取りまとめ作業等もありますので、できるだけ早めに推薦状を提出して下さい。

社団法人 畜産技術協会
〒113-0034 東京都文京区湯島 3-20-9
電話 03-3836-2301
FAX. 03-3836-2302
e-mail : oubo@jlta.jp
担当者：企画情報部 渡邊

表彰に値する 業績の概要	
過去の受賞歴	
その他の参考事項	

※「表彰に値する業績の概要」の欄を読むことで表彰候補者の功績が明確にわかる記述をして下さい。
また、グループ等による業績の場合は、その業績における表彰候補者の役割を明記して下さい。

優秀畜産技術者表彰規程（抜粋）

（平成2年10月26日変更）

（目的）

第1条 この表彰は畜産技術者の技術向上を促し、畜産技術の普及発達に資することを目的とする。

（表彰を受けるもの）

第2条 表彰は本協会1号会員の構成員であつて畜産技術の研究、開発又は優秀技術の普及、指導上顕著な功績を挙げたものにつき行う。

（表彰を行うもの）

第3条 表彰は社団法人畜産技術協会会長が行う。

（授与品）

第4条 表彰は表彰状を授与して行う。この場合、副賞として賞金又は賞品を授与する。

（表彰期日）

第5条 表彰は毎年1回行う。

（選考及び決定）

第6条 表彰を受けるものは本協会より推薦を依頼したものが推薦した候補者のうちから表彰審査委員会にはかり会長が選考決定する。

（表彰審査委員会）

第7条 表彰を公正かつ適切に行うため、表彰審査委員会を設置する。

2 表彰審査委員は選考の都度会長が委嘱する。

優秀畜産技術者表彰規程細則（抜粋）

（平成15年4月14日変更）

第1条 この表彰を受ける者は、畜産技術開発および行政に係る将来性に富む意欲ある中堅技術者とし、原則として過去に同種の業績で全国的なレベルの表彰を受けたことのない者とする。

第2条 表彰の期日は、会長が定める。

第3条 表彰を受ける者の推薦は、別記様式により、毎年12月15日までに提出する。

第4条 表彰をうける者の数は、毎年10件以内とする。

第5条 表彰の対象分野は、次のとおりとする。

- (1) 家畜生産・飼養の部
- (2) 草地・飼料の部
- (3) 家畜衛生の部
- (4) 経営技術・指導の部
- (5) 行政・普及の部

優秀畜産技術者賞
受賞者一覧
第46回(平成23年度)まで

(注)・年度欄の()内は受賞者数を示す。

- ・備考欄の◎印は特別賞(62年度まで藤井記念賞)を併せて受賞した者を示す。
- ・備考欄の※印は全国畜産課長会推薦者、☆印は家畜改良センター・牧場長協議会推薦者、◇印は(社)中央畜産会推薦者、○印は4号会員推薦者、無印は全国畜産関係場所長会推薦者、◆印は全国畜産課長会と全国畜産関係場所長会の両者からの推薦を示す。

年度	氏名	所 属	備考
第46回 23年度 (10)	浅井英樹 岩本英治 大坂郁夫 栗田隆之 後藤美津夫 嶋澤光一 長井誠仁 中原仁也 山本泰也 脇屋裕一郎	岐阜県畜産研究所 兵庫県立農林水産技術総合センター 畜産技術センター 北海道立総合研究機構 根釧農業試験場 愛知県畜産総合センター 群馬県畜産試験場 長崎県農林技術開発センター 石川県畜産総合センター 岡山県農林水産総合センター 畜産研究所 三重県畜産研究所 佐賀県畜産試験場	 ◎ ◎
第45回 22年度 (10)	浅田勉 尾形康弘 小堤万里子 小柳涉 陰山聡一 川嶋賢二 小山太子 立川昌子 龍田健 三角浩司	群馬県畜産試験場 広島県立総合技術研究所 茨城県農業総合センター 新潟県農業総合研究所畜産研究センター 北海道立総合研究機構畜産試験場 千葉県畜産総合研究センター 福岡県農業総合試験場 岐阜県畜産研究所 兵庫県立農林水産技術総合センター 畜産技術センター 独立行政法人 家畜改良センター	 ◎ ◎ ☆
第44回 21年度 (10)	青柳和重 上原茂樹 惠本英輔 川村英輔 小原潤子 柴田昌利 白石誠 橋谷田豊 福島護之 保倉勝己	山形県立農業大学校 香川県畜産試験場 山口県農林総合技術センター 神奈川県畜産技術センター 北海道立畜産試験場 静岡県畜産技術研究所中小家畜研究センター 岡山県総合畜産センター 独立行政法人家畜改良センター 兵庫県立農林水産技術総合センター-北部農業技術センター 山梨県酪農試験場	 ◎ ☆◎
第43回 20年度 (10)	生田健太郎 金谷千津子 河野幸雄 座喜味聡 仙名和浩 長峰孝文 長谷川清寿 原雄一 増田隆晴 矢内清	兵庫県立農林水産技術総合センター-淡路農業技術センター 富山県農林水産総合技術センター-畜産研究所 広島県立総合技術研究所畜産技術センター 沖縄県家畜衛生試験場 北海道畜産試験場 財団法人 畜産環境整備機構畜産環境技術研究所 島根県畜産技術センター 長野県畜産試験場 岩手県中央農業改良普及センター-滝沢駐在 福島県農業総合センター-畜産研究所	 ◎ ◎◎

年度	氏名	所属	備考
第42回 19年度 (10)	阿部正彦 内布幸典 片山信也 三枝俊哉 坂本恭一 関下浩一 松山下裕昭 山吉羽宣明 四ツ島賢二	福島県農業総合センター畜産研究所 福岡県両筑家畜保健衛生所 静岡県畜産技術研究所 北海道根釧農業試験場 愛媛県畜産試験場 新潟県農業総合研究所畜産研究センター 山梨県畜産試験場 熊本県熊本農政事務所 埼玉県農林総合研究センター畜産研究所 富山県農業技術センター畜産試験場	※◎ ◎
第41回 18年度 (10)	井出忠彦 木野勝敏 草刈直仁 高田直和 田淵賢治 轟木淳一 名倉義夫 新居雅宏 藤谷泰裕 室井章一	長野県畜産試験場 愛知県農業総合試験場 北海道立根釧農業試験場 宮城県畜産試験場 香川県畜産試験場 鹿児島県農業開発総合センター畜産試験場 独立行政法人家畜改良センター長野牧場 徳島県立農林水産総合技術支援センター畜産研究所 大阪府立食とみどりの総合技術センター 栃木県酪農試験場南那須育成牧場	◎ ◎◆ ☆
第40回 17年度 (10)	安宅倭隆 足立憲八郎 阿部正八郎 阿部則夫 石橋和樹 河原崎達雄 坂口慎一 谷口雅律 野田昌伸 守川信夫	農林水産省大臣官房 茨城県畜産センター 大分県農林水産研究センター畜産試験場 青森県農林総合研究センター畜産試験場 福岡県中央家畜保健衛生所 静岡県中小家畜試験場 岐阜県畜産研究所 熊本県農業研究センター畜産研究所 兵庫県立農林水産技術総合センター北部農業技術センター 沖縄県畜産試験場	◎☆ ◎※
第39回 16年度 (10)	小嶋睦次 佐藤茂利 澤井幸雄 鋤柄幸雄 鈴木暁之 芹沢駿治 南橋昭 宮島恒晴 村野多可子 米村功	兵庫県立農林水産技術総合センター淡路農業技術センター畜産部 福島県畜産試験場草地飼料部 山口県畜産試験場 愛知県農林水産部畜産課 岩手県農林水産部畜産課 静岡県畜産試験場 北海道立畜産試験場 佐賀県畜産試験場 千葉県畜産総合研究センター 鳥取県畜産試験場	◎ ※ ◎
第38回 15年度 (10)	伊藤裕和 宇田三男 古賀照章 桜井和巳 杉本真由美 住尾善彦 馬場武志 藤野幸宏 森本正隆 渡辺千春	愛知県農業総合試験場畜産研究部 茨城県畜産センター 長野県畜産試験場 山梨県農政部農業技術課 独立行政法人家畜改良センター 熊本県農業研究センター畜産研究所 福岡県農業総合試験場畜産環境部 埼玉県農林総合センター畜産研究所 北海道立畜産試験場技術普及部 滋賀県農業総合センター畜産技術振興センター	◎☆ ◎ ※

年度	氏名	所 属	備考
第32回 9年度 (10)	阿部茂樹 井口元夫 伊藤元敬 今井孝一 小川孝一 小林正人 崎元道男 堀英臣 丸山富美子 渡辺晴彦	島根県出雲家畜保健衛生所 千葉県畜産センター 岐阜県畜産試験場 農林水産省家畜改良センター 山梨県農政部主幹 山形県立農業研究研修センター 大阪府立農林技術センター 熊本県立農業大学校 富山農業改良普及センター 長野県畜産試験場	◎ ☆ ※ ◎
第31回 8年度 (10)	大石登志雄 小西一之 寒河江洋一郎 津田公男 中村慶逸 堀内篤篤 溝口春壽 三室船和 吉田博宮	福岡県農業総合試験場畜産研究所 家畜改良センター 北海道立新得畜産試験場 茨城県畜産試験場 青森県畜産試験場 静岡県中小家畜試験場 大分家畜保健衛生所 徳島県畜産試験場 初生鑑別師 長野県畜産試験場	☆ ※ ◎ ◇ ◎
第30回 7年度 (10)	太田垣進 鎌田隆義 川村祥正 河野博英 志賀一徳 高橋忠宏 福光健二 三宅晃二 三宮脇耕平 山田義武	兵庫県立北部農業技術センター 島根県立畜産試験場 岩手県農政部農政企画課 家畜改良センター岩手牧場 大分県畜産試験場 山梨県西部家畜保健衛生所 群馬県畜産試験場 静岡県畜産試験場 長野県畜産試験場 岐阜県養鶏試験場	◎ ☆ ◎※ ※
第29回 6年度 (10)	江藤哲雄 岡田雪男 河嶋典夫 木村容子 斉藤則夫 白崎克治 菅間博慎 芹川博 兵頭勲 松本道夫	千葉県畜産センター酪農試験場 島根県家畜衛生研究所 鳥取県中小家畜試験場 群馬県西部家畜保健衛生所 家畜改良センター 鹿児島県養鶏試験場 栃木県酪農試験場 北海道立根釧農業試験場 東京都畜産試験場 熊本県農業研究センター畜産研究所	◎ ◎ ※ ☆
第28回 5年度 (10)	荒井徹 桑田幸人 下平乙夫 苦米地達夫 津留崎正信 中前均 富家武男 本田勝男 森清一 渡辺淳一	栃木県酪農試験場 鳥取県畜産試験場 家畜改良センター 群馬県畜産試験場 福岡県農業総合試験場畜産研究所 愛知県西三河家畜保健衛生所 滋賀県畜産技術センター 神奈川県畜産試験場 北海道立新得畜産試験場 青森県畜産試験場	☆ ◎ ◎

年度	氏名	所 属	備考
第27回 4年度 (10)	杉本 亘 之 笹野 貢 巳 西藤 克 巳 中林 見 見 鈴木 啓 一 小滝 正 勝 矢後 啓 司 加藤 三 郎 野上 興 志 郎 後藤 孝 一	北海道立滝川畜産試験場 (社)北海道生乳検査協会 青森県畜産試験場五戸支場 家畜改良センター奥羽牧場 宮城県畜産試験場 埼玉県養鶏試験場 神奈川県家畜病性鑑定所 静岡県畜産試験場 岡山県総合畜産センター 熊本県農業研究センター	◇◎ ☆ ※◎
第26回 3年度 (10)	川崎 勉 雄 今田 哲 俊 二 小泉 安 磨 男 三井 井 誠 孝 岸武 純 昭 彦 高橋 昭 夫 上田 昭 夫 小賀野 義 一 吉村 征 彌	北海道立天北農業試験場 山形県立養豚試験場 群馬県東部家畜保健衛生所 千葉県畜産センター 神奈川県畜産試験場 山梨県東部家畜保健衛生所 愛知県農業総合試験場畜産研究所 鳥取県鳥取地方農林振興局 徳島県畜産試験場 熊本県農業技術センター	※ ※ ◎ ※ ※
第25回 2年度 (10)	廣田 千 秋 吉田 欣 哉 高倉 宏 輔 矢口 長 彦 小宮山 恒 夫 今井 明 夫 数井 正 治 上野 満 弘 野田 雅 博 深江 義 忠	青森県畜産試験場 岩手県盛岡家畜保健衛生所 農林水産省家畜改良センター 茨城県畜産試験場 山梨県畜産試験場 新潟県畜産試験場 富山県農地開発公社富山県肉用牛センター 岡山県総合畜産センター 広島県可部家畜保健衛生所 福岡県農業総合試験場畜産研究所	◎※ ☆ ※ ◎ ※
第24回 平成 元年度 (10)	岡本 全 弘 磯貝 朝 光 真壁 朝 光 板橋 正 六 藤城 清 司 河合 洋 史 梅田 勲 則 亀岡 俊 則 白石 忠 昭 金城 英 企	北海道立滝川畜産試験場 農林水産省福島種畜牧場 栃木県栃木家畜保健衛生所 群馬県畜産試験場 千葉県畜産センター酪農試験場 愛知県農業水産部畜産課 岐阜県養鶏試験場 大阪府農林技術センター畜産部 島根県家畜衛生試験場 沖縄県家畜衛生試験場	☆ ※ ◎ ◎※
第23回 63年度 (10)	新井 忠 夫 小林 清 四 郎 小山 弘 暹 足立 井 弘 藤井 秀 之 山原 政 司 上野 田 政 富森 健 成 助	茨城県養豚試験場 新潟県畜産試験場 静岡県畜産試験場 京都府丹後家畜保健衛生所 奈良県農林部畜産課 広島県久井家畜保健衛生所 徳島県畜産試験場 福岡県農業総合試験場畜産研究所 農林水産省熊本種畜牧場阿蘇支場 熊本県畜産開発公社西原公共育成牧場	◎ ※ ※ ☆ ※

年度	氏名	所 属	備考
第22回 62年度 (9)	小倉紀美 本堂勲 小野寺勉 小池一正 宮原強 水野隆夫 藤原三男 藤田浩三 木場俊太郎	北海道立新得畜産試験場 北海道農務部 岩手県農政部畜産課 福島県畜産試験場 千葉県畜産センター 三重県農業技術センター 岡山県家畜病性鑑定所 広島県立畜産試験場 熊本県畜産試験場	※ ※ ◎
第21回 61年度 (9)	富樫伸夫 棚橋 穰 細川明 松本平八郎 甲斐博文 物部光彦 上野繁 甲斐勝利 鈴木勝達	山形県立畜産試験場 群馬県農政部畜産課 山梨県畜産試験場 富山県礪波農業改良普及所 奈良県畜産試験場 高知県畜産試験場 福岡県農業総合試験場畜産研究所 宮崎県畜産試験場川南支場 農林水産省福島種畜牧場	※ ※ ◎ ☆
第20回 60年度 (6)	及川稜郎 山之上善久 浅野元生 中丸輝彦 柳田昌秀 森口藤雄	岩手県水沢家畜保健衛生所 埼玉県養鶏試験場 長野県畜産試験場 岐阜県種畜場 大阪府農林技術センター 徳島県肉畜試験場	 ◎
第19回 59年度 (6)	石工栗敏機 藤藤昌司 西村實 野口博道 原博文男 上野呈一	北海道立滝川畜産試験場 山形県立畜産試験場 千葉県嶺岡乳牛試験場 静岡県養豚試験場 島根県立家畜衛生研究所 福岡県農業総合試験場畜産研究所	 ◎
第18回 58年度 (6)	関口博和 久松敬昭 山本勝昭 勝森良男 井上重美 井上尚武	東京都畜産試験場 三重県農業技術センター 富山県農業水産部農産普及課 大阪府農業技術センター 岡山県酪農試験場 大分県農業技術センター	 ◎
第17回 57年度 (6)	北川重一 飯野弘 石井泰明 直江俊郎 石井孝 大滝典雄	秋田県畜産試験場 山梨県酪農試験場 群馬県畜産試験場 愛知県農業総合試験場畜産研究所 島根県立畜産試験場 熊本県農政部経営普及課	 ◎
第16回 56年度 (6)	高久勉 加藤良忠 目加田博行 中沢稔 森昭治 安田三郎	山形県立畜産試験場 千葉県畜産センター 岐阜県種鶏場 滋賀県種畜場 福岡県農業総合試験場畜産研究所 鹿児島県畜産試験場	 ◎

年度	氏名	所 属	備考
第15回 55年度 (6)	谷地 仁 佐野 修 平方 明男 入江 達彦 小田 龍丸 小島 勝次郎	岩手県畜産試験場 茨城県養豚試験場 長野県畜産試験場 静岡県畜産試験場 佐賀県畜産試験場養鶏分場 長崎県総合農林試験場	◎
第14回 54年度 (6)	橋本 俊明 伊能 林平 村山 仁一 山口 和光 東上 床久 知花 健	青森県畜産試験場 千葉県畜産センター 新潟県養鶏試験場 兵庫県立畜産試験場 鹿児島県養鶏試験場 沖縄県家畜衛生試験場	◎
第13回 53年度 (7)	平山 秀介 白田 尚 田中 農夫幸 稻垣 二郎 三宅 律太 天野 武 梅津 頼三郎	北海道立滝川畜産試験場 山形県立畜産試験場 千葉県畜産センター 愛知県農業総合試験場畜産研究所 岡山県酪農試験場 香川県畜産試験場 大分県畜産試験場	
第12回 52年度 (6)	戸田 忠祐 須田 亘 遠藤 国雄 中山 野栄一 大脇 清一	岩手県畜産試験場 秋田県畜産試験場 茨城県農林水産部教育普及課 和歌山県畜産試験場 山口県種畜場 宮崎県総合農業試験場酪農支場	
第11回 51年度 (6)	佐藤 勝信 官沢 一男 桜井 哲雄 石川 幸一 広江 武彦 吉木 忠彦	福島県畜産試験場 埼玉県畜産試験場 神奈川県畜産試験場 静岡県養鶏試験場 島根県立畜産試験場 佐賀県畜産試験場	
第10回 50年度 (6)	野村 忠弘 飯野 雅夫 吉根 浩太郎 村田 敏夫 多田 昌男 野中 直喜	青森県畜産試験場 埼玉県養鶏試験場 福島県畜産試験場 兵庫県畜産試験場但馬分場 岡山県養鶏試験場 長崎県畜産試験場	
第9回 49年度 (6)	大森 昭治 齐藤 孝夫 北原 友栄 畔柳 英世 田中 寛 平田 睦齋	北海道立新得畜産試験場 宮城県畜産試験場 長野県畜産試験場 愛知県農業総合試験場養鶏研究所 広島県立畜産試験場油木支場 鹿児島県畜産試験場	
第8回 48年度 (6)	蛇沼 恒夫 阿久津 国男 松島 正洋 水野 高虎 白川 繁 平桜 全作	岩手県畜産試験場 栃木県上都賀農業指導所 鳥取県中小家畜試験場 愛媛県養鶏試験場 宮崎県総合農業試験場 青森県農林部畜産課	

年度	氏名	所 属	備考
第7回 47年度 (6)	谷内光雄 入江 壯 大江哲雄 大宮沢寿広 赤星達正 岩田明敏	青森県養鶏試験場 埼玉県畜産試験場 岐阜県種畜場 和歌山県畜産試験場 熊本県畜産試験場 島根県立家畜衛生研究所	
第6回 46年度 (6)	西 埜 進 津 吉 炯 海老沢 昭二 黒田 範雄 古賀 儀保 渡 辺 文雄	酪農学園大学 栃木県酪農試験場 岐阜県種畜場 兵庫県立畜産試験場 福岡県種畜場 埼玉県家畜衛生試験場	
第5回 45年度 (6)	宇佐見 登 大橋 昭也 今口清太郎 守谷 進 岡嶋 憲太郎 金子 史郎	福島県畜産試験場 東京都畜産試験場 三重県農業技術センター 岡山県養鶏試験場 大分県畜産開発事務所 兵庫県姫路家畜保健衛生所	
第4回 44年度 (6)	丹野 祐一 佐藤安弘 米倉久雄 嘉寿 頼栄 吉田 紀一 景浦 忠徳	宮城県農業試験場 神奈川県畜産試験場 静岡県養鶏試験場 岡山県和牛試験場 熊本県農業試験場 愛媛県八幡浜家畜保健衛生所	
第3回 43年度 (6)	本郷 直樹 磯貝 誠吾 小池 信夫 鳥飼 善夫 清田 利夫 森谷 昇一	秋田県畜産試験場 群馬県畜産試験場 長野県畜産試験場 滋賀県種畜場 山口県種鶏場 岡山県酪農試験場	
第2回 42年度 (5)	高橋 仁 大瀧 恭二郎 谷口 清水 曾我部 一郎 南里 稜威雄	栃木県酪農試験場 新潟県養鶏試験場 愛知県肉畜試験場 徳島県畜産試験場 福岡県種畜場	
第1回 昭和 41年度 (7)	坪松 戒三 首藤 新一 淵向 正四郎 上田 信一 川崎 晃 中村 健士 田中 実	北海道立根釧農業試験場 北海道立滝川畜産試験場 岩手県畜産試験場 岐阜県種畜場 岡山県養鶏試験場 山口県種畜場 福岡県立農業試験場	

注；賞金については以下のとおり

昭和42年度から昭和44年度まで日本中央競馬会弘済会より1人1万円
昭和45年度から昭和50年度まで日本中央競馬会弘済会より1人3万円
昭和51年度から昭和55年度まで日本中央競馬会弘済会より1人5万円
昭和56年度から平成7年度まで日本中央競馬会弘済会より1人10万円
平成8年度から平成17年度まで日本中央競馬会弘済会より1人15万円
平成18年度から日本中央競馬会弘済会より1人10万円